

1 次の——線部の漢字は読みをひらがなで書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。 〈1点×10〉

- ① 校則に違反する ( )
- ② 沈黙したまま時間が過ぎる ( )
- ③ 階段で転倒する ( )
- ④ 十分に把握できない ( )
- ⑤ 拍子ぬけしてしまう ( )
- ⑥ じっくりヒロウをいやす ( )
- ⑦ とてもシンライできる ( )
- ⑧ リンジンに親切にする ( )
- ⑨ 心のオクはわからない ( )
- ⑩ 病人をカクリする ( )

2 次の( )にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

(同じ言葉はつかわない)

〈2点×5〉

- ① ( )を食いしぼる
- ② 難問に手も( )も出ない
- ③ 考えた末( )を決める
- ④ 失望のあまり( )を落とす
- ⑤ 高価すぎて( )が出ない

ア 手 イ 足 ウ 肩  
エ 腹 オ 歯

④	①
⑤	②
	③

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 〈5点×4〉

文学を読むことは、新しい体験への旅立ちです。そして、この世には、多くのすぐれた文学作品が、あなたがたが分け入り、共感し、<sup>①</sup>してくれるのを待っています。

しかし、どういう作品に深く共鳴するかは、人によってびまようちにちがいます。あなたがたがこの作品を読んでも、それほど感じないといったことが、たぶんあると思います。それはそれでよいのです。わたしが「鳥をとるやなぎ」に強く打たれたのは、たぶん、わたしが、この少年と同じように、自然の中で育ったことと、関係があるでしょう。人は、生活も個性も、みな少しずつちがいます。だから、共鳴する作品もちがって当然なのです。ただ、自分にとって<sup>③</sup>忘れられない作品はこれだというそんな作品に、一つくらいはぜひ出会ってみたいものです。

(磯貝英夫「文学を読む楽しみ」)

- (1) ——線①と同じ意味で用いられている言葉を、文章から二字でぬき出せ。 □
- (2) ——線②である理由を次から選び、記号で答えよ。  
ア 自然の中で育ったから    イ すぐれた文学は少ないから  
ウ 生活や個性がちがうから    エ 好奇心があるから □
- (3) ——線③とあるが、筆者にとって忘れられない作品は何か、書け。 □
- (4) 筆者は文学を読むことはどんなことだと述べているか。文章から十字でぬき出せ。  
□